

報道関係者各位

PRESS RELEASE 2015年3月23日

No. 2014-101

—日本とアジアをつなぐ文化交流事業— アジア・文化人招へいプログラム 4月3日～ブルネイのグラフィックデザイナーが日本伝統美術を体感

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)アジアセンターは、アジア各国の有識者を日本に招く「アジア・文化人招へいプログラム」を、2014年度より開始しました。初年度は、東南アジア7カ国から7名の招へいが決定しました。今後2020年度まで、文学、美術、舞台芸術、映像、その他文化諸分野の専門家が、毎年10名程度来日する予定です。

本プログラムでは、自身の専門分野を通じて社会的・文化的に大きな影響力を持ちながら、これまで日本との接点が少ないアジア各国の文化人・知識人を短期間招き、日本の文化や人と実際に触れ合う機会を設け、理解を深めるきっかけをつくります。さらに、日本の関係者とのネットワークの構築や、対話を通じて今後の共同制作などの可能性を探ります。招へいた文化人との交流を通じて、日本側においても、アジア各国の文化への理解が促進されることを期待しています。

今回は、ブルネイからグラフィックデザイナーのカマルル ザマン タジュディン氏が約2週間の日程で初めて来日します。日本の伝統・現代美術、陶磁や染織の工房の訪問、関係者との交流などを通じて、日本文化への知見を広げるとともに、今後の作品づくりへのヒントを得る機会とします。

ぜひご取材をご検討いただけましたら幸いです。日程の詳細、取材のご希望につきましては、お問い合わせください。

■「アジア・文化人招へいプログラム」招へい者(ブルネイ) 詳細

【日程】：2015年4月3日(金)～4月16日(木)

【招へい者】：カマルル ザマン タジュディン氏 (Pg Khamarul Zaman Pg Hj Tajuddin)
ブルネイ・ロシア芸術家交流プログラム(2014)、アジア国際美術展(タイ 2013)、
アジアアートビエンナーレ(バングラデシュ 2012)、世界国際博覧会(中国 2010)等
国内外の美術館・展覧会にて作品を発表。

【所属】：ブルネイ 文化・青年・スポーツ省 グラフィックデザイナー

【専門】：絵画、グラフィックデザイン、イラストレーション (特に植物・花をモチーフとした伝統模様)

【訪問先】：東京(江戸更紗 染色体験、室瀬和美氏(重要無形文化財「蒔絵」保持者)、
東京国立博物館、アダチ版画研究所)、神奈川(箱根湿生花園、彫刻の森美術館)、
大阪(国立文楽劇場、大阪城)、京都(西陣織創作体験、寺社仏閣訪問)など

国際交流基金アジアセンターウェブサイト <http://jfac.jp/>

●主催者・本事業に関するお問い合わせ：国際交流基金 アジアセンター 文化事業チーム (担当:小島)

Tel: 03-5369-6025 / E-mail: Kei_Kojima@jpf.go.jp

●取材に関するお問い合わせ：コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp